

紙面から

- ひのっ子すくすくプラン2
提案へのご意見をお聞かせください!
- ミニバス落川路線運行開始4
- 電子申請が始まります4
- 市民交流スキーツアー7
- 老人保健制度で8
医療を受けている方へ

第2次農業振興計画を策定

農家・市民・市が協働して都市農業を守っていこう

日野市では今、農地と農業の担い手の急速な減少が進んでいます。この状況に歯止めをかけ、新鮮で安全な農産物を供給する日野農業の確立が課題となっています。

市では、平成16年度～25年度を期間とする第2次日野市農業振興計画を策定しました。これは第1次農業振興計画（平成9年策定）以降の社会情勢の変化により同計画を見直し、「日野いいプラン2010」の部門計画として位置付け、「日野市まちづくりマスタープラン」との整合性を図っています。本計画は「日野市農業基本条例」で掲げる農業施策を進めていくうえで、今後10年間の指針となるものです。計画の推進には、4つの振興目標を立て、そこから5つの振興施策を定め、17のアクションプランを今後5年間で着実に進めていきます。

振興目標

- 今ある農地を次世代に残していこう
- 農業・農業者を理解し、みんなで応援していこう
- 農家・市民・行政が協働しながら進めよう
- 農の恵みを市民も享受しよう



問合せ先 産業振興課

1. 安心して農業のできる環境づくり

- (1) 農業を保全すべき地域を定め、農業者の発意により農業保全地域として指定します
 - ・まちづくり条例に「農業保全に関するまちづくり条項」の位置付け
 - ・まちづくり計画策定活動の実施
 - ・「農業保全基金条例」の制定
- (2) 農地を守るまちづくりを進めよう
 - ・地区計画で計画的な農地の保全
 - ・生産緑地の追加指定の継続
 - ・遊休農地の活用
- (3) 次の世代に美しい農地を引き継いでいこう
 - ・(仮称)「美し日野農地賞」表彰
 - ・遊休農地活用による農の景観づくり
 - ・構造改革特区の活用
- (4) 水田を残し、日野の貴重な財産である用水を市民と農業者で守っていこう
 - ・援農ボランティアによる水田の保全
 - ・体験農業による水田の保全
 - ・地域の市民ボランティアと維持管理
- (5) 経営改善により日野の農業を元気いっぱいにしていこう
 - ・農業施設、設備の近代化による経営安定化
 - ・体験型市民農園の開設を推進
 - ・新たな農業ビジネスの展開

2. 農業の担い手と仲間づくり

- (1) 認定農業者制度を導入し、活力ある農業経営者を育成しよう
 - ・認定農業者制度の検討、実施
 - ・経営改善支援センターの設置
 - ・市独自の支援策を検討
- (2) 農業の担い手を育てていこう（農業のやりやすい税制を考える）
 - ・新規就農者支度金の創設
 - ・就農相談窓口の設置
 - ・農地基準作り検討会（農業委員会）との連携
- (3) 女性農業者を支援し、日野の農業の活力を高めよう
 - ・女性農業者の支援
 - ・女性農業者の経営参画と「家族経営協定」締結の促進
 - ・消費者との交流活動の実施
- (4) 援農制度を確立し、日野の農業を応援しよう
 - ・「農の学校」の開設
 - ・農業支援センターの開設
 - ・援農リーダー、援農NPOの育成
- (5) 「日野農業応援団」をつくり日野の農業を盛り上げよう
 - ・日野農業応援団の設立
 - ・市民と農家の交流
 - ・市民農園の増設

3. 市民と農家との交流・体験づくり

- (1) 学校と農家の連携により学童農園を充実させよう
 - ・学童農園や農業体験を指導する農業者との協定（覚書）、指針等の仕組みづくり
 - ・食農教育の推進
 - ・公園に実習田整備
- (2) ファーマーズセンターを市民と農業者の交流拠点にしよう
 - ・基本計画検討会
 - ・実施計画の策定
 - ・建設及び運営



4. 安全安心な農産物づくり

- (1) 市内どこでも、歩いていける所で地元農産物が買えるようにしよう
 - ・即売会、共同直売所の新設・移転
 - ・即売会、個人直売所の消費者・市民の支援
 - ・農産物直売所情報の発信
- (2) 学校給食に地元産野菜等をもっと利用しよう
 - ・発注、受注システム等の改善
 - ・契約栽培の検討、実施
 - ・日野産米の学校給食への利用促進
- (3) 市民要望を農家に伝えて、農産物の生産過程の情報開示をしよう
 - ・学校給食供給農産物の生産情報の開示
 - ・生産情報開示研究会等の設立
- (4) 持続性の高い農業生産方式の導入を促進しよう
 - ・生ごみと剪定枝チップ、落葉のたい肥化
 - ・「エコファーマー」への支援
 - ・安全、安心な農産物の販売促進

5. ひの農業ブランドづくり

- (1) 日野の特産品を商品化し、「日野ブランド」づくりを進めよう
 - ・東光寺大根の普及と加工の研究、開発
 - ・「平山陸稲（おかぼ）」再発見と商品化
 - ・ブルーベリー発泡酒など農産物の加工、商品化と特産農産物の日野ブランド化